

## ■地方公営企業会計 用語解説

1	経常収支比率	事業の経常的な収支のバランスを測る指標です。分母の営業費用と営業外費用の合計値に対して分子の営業収益と営業外収益の合計値が大きくなるほど比率は良くなります。
2	営業収益	営業活動によって生じる収益を指し、主に給水収益が挙げられます。
3	営業外収益	営業活動以外によって生じる収益を指し、受取利息や長期前受金戻入などが挙げられます。
4	営業費用	営業活動によって生じる費用を指し、維持管理費や減価償却費などが挙げられます。
5	営業外費用	営業活動以外によって生じる費用を指し、企業債や借入金の利息などが挙げられます。
6	経常黒字	経常収支 ((営業収益+営業外収益) - (営業費用+営業外費用)) がプラスとなることを示します。
7	営業収益営業利益率	営業収益のうちどの程度の割合が利益であるのかを示す指標です。分母の営業収益に対して分子の営業利益が大きくなるほど比率は良くなります。
8	営業利益	営業活動によって生じる利益を指し、営業収益から営業費用を差し引いた額を指します。
9	経費回収率	供給単価を給水原価で割った率を示す指標です。100%を下回っている場合、給水収益で対象経費を賄えてない状況にあります。
10	供給単価	使用者から徴収する水道水 1 m <sup>3</sup> あたりの平均単価です。
11	給水原価	水道水を 1 m <sup>3</sup> 作るのに必要とする経費です。
12	受水費	印旛広域水道用水供給事業から水を購入するための費用です。
13	長期前受金戻入	減価償却が取得経費を使用期間全体に費用を割り振る一方、その財源を収益として割り振ることで、長期前受金戻入は、あくまでも帳簿上の処理で、収益上、実際の現金収入はありません。
14	減価償却費	管路や設備等の資産は、整備後経年に伴い、資産価値が減少していくことから、その目減り分を経費として計上することを示します。
15	流動比率	流動負債に対する流動資産の割合を示す指標であり、企業の短期的な支払い能力を判断するために用いられます。流動資産が流動負債を上回っていることが望ましく、少なくとも 100%以上が求められます。
16	流動資産	現金や通常 1 年以内に現金化、費用化ができる資産を示します。
17	流動負債	未払金などの通常 1 年以内に返済される負債を示します。
18	流域下水道維持管理費	佐倉市の汚水処理は「印旛沼流域下水道」によって行われており、処理費用として「流域下水道維持管理負担金」を支払っています。

■企業会計方式（発生主義）

損益計算書

営業費用 (減価償却費 含む)	営業収益
営業外費用	営業外収益
特別損失	特別利益
利益	

貸借対照表

資産	負債
	資本

毎年度の利益が資本として  
内部留保されます